

科目名	教育経営特論	担当教員	古壕典洋
科目属性	専門科目 A	単位数	2 単位（面接 0.5 単位）
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校経営の原理について理解する。 2 コミュニティ・スクールの歴史、現代的意義、課題などについて理解する。 3 国際機関、国、地方などのレベルでの経営・行政の現状と課題について理解する。 4 学校間連携のありかたについて理解する。 5 学校と家庭・地域社会の連携のあり方について理解する。 			
<p>【授業計画】</p> <p>教育経営の原理—計画性、多様な教育観の調整、学校の創造性、カリキュラムの開発、コミュニティ・スクールの導入、学習組織体としての学校の創造などの視点から、関連の理論と実践事例を有機的に関連させながら考える。その際、共生を重要な視点の一つとしている生涯学習との関連を重視する。また、単位学校の経営だけでなく、国全体とグローバルなレベルで共生する経営についても考える。</p> <p>※以下に示す回数は 15 回（2 単位）の講義内容を想定した学修量を示す。</p> <p>第 1 回 カリキュラム開発 第 2 回 学校における時間 第 3 回 教科の意義 第 4 回 潜在的カリキュラム 第 5 回 脱学校化の問題 第 6 回 教育と選抜 第 7 回 職業的社会化 第 8 回 授業経営 第 9 回 学校の創造性 第 10 回 コミュニティ・スクール 第 11 回 リーダーシップ 第 12 回 開かれた教育経営 第 13 回 学習組織体としての学校 第 14 回 教育経営の原理 第 15 回 カリキュラムと学校組織</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>「スクーリング評価」（25%）、「レポート評価」（25%）、「科目修得試験」（50%）の割合で総合して評価</p>			
<p>【教科書】</p> <p>高見茂・服部憲児編『教育経営』（教職教養講座 第 14 巻）協同出版、2017 ISBN 978-4-319-00336-5</p>			
<p>【参考図書】</p> <p>ピーター・M・センゲほか（リヒテルズ直子訳）『学習する学校—子ども・教員・親・地域で未来の学びを創造する』英治出版、2014</p>			